

総合的な利用メニューの充実に係る取組のバックデータ

1. 自然解説・自然体験学習プログラムの充実.....	2
1-1. 環境省主催による自然体験学習プログラムの実施	2
(1) AR自然観察会	2
(2) PV自然観察ハイキング	4
1-2. 周辺地域の関係機関等と連携した自然体験学習プログラムの実施	5
(1) 周辺地域の小中学校と連携した育苗イベント	5
2. 情報提供・情報発信の充実.....	6
2-1. 各種情報の活用	6
(1) 大台ヶ原と京都御苑、美しい自然展	6

1. 自然解説・自然体験学習プログラムの充実

1-1. 環境省主催による自然体験学習プログラムの実施

(1) AR自然観察会

近畿地方環境事務所 吉野自然保護官事務所では、五感を使って季節ごとの大台ヶ原の自然を感じ、自然とふれあうきっかけ作りの場とすることや、トウヒやコケの衰退、ミヤコザサの繁茂などの変わりつつある大台ヶ原の自然の現状について解説し、それらを通じて広く自然環境の保全とその利用のあり方について認識してもらうことを目的に、下記の通り、アクティブレンジャー（AR）による自然観察会を実施した。

① 実施概要

i 自然観察会 ～苔の森でミニエコツアー～

開催日時：6月25日(土)、9月3日(土)、17日(土)、10月1日(土)

※ 各日、1回目 10:40～12:10、2回目 13:30～15:00

場 所：苔道

対 象：一般（小学生以下の参加は保護者同伴とした）

定 員：各回10名、計20名

参加費：100円（傷害保険代）

広 報：ホームページ、報道機関への情報提供、ビジターセンター、当日募集

ii 自然観察会 ～夏の森でエコハイキング～

開催日時：7月23日(土)、24日(日)、8月6日(土)、13日(土)（利用が集中する夏休み期間を中心に実施） ※ 各日、10:40～13:15

場 所：中道

対 象：一般（小学生以下の参加は保護者同伴とした）

定 員：各回15名

参加費：100円（傷害保険代）

広 報：ホームページ、報道機関への情報提供、ビジターセンター、当日募集

② 内容

実施体制は基本的に、メイン解説1人、補助解説1人の2人体制で行った。

i 自然観察会 ～苔の森でミニエコツアー～

- ・ 国立公園の紹介およびマナー・ルールの案内
- ・ 季節の見頃の植物の紹介、有毒植物の周知
- ・ 匂いあてゲーム（松ヤニ）
- ・ 推理ゲーム（根上がりしている樹木についてその理由を解説、倒木更新）
- ・ シカの食害問題についての紹介
- ・ 防鹿柵の紹介、効果の説明
- ・ 紙芝居による大台ヶ原の現状の解説（森林衰退の経緯）
- ・ 自然再生事業の取り組みの紹介
- ・ 生態系のしくみ紹介
- ・ 大台ヶ原の歴史の解説

ii 自然観察会 ～夏の森でエコハイキング～

- ・ 国立公園の紹介およびマナー・ルール案内
- ・ 季節の見頃の植物紹介、有毒植物の周知
- ・ 匂いあてゲーム（松ヤニ）
- ・ 推理ゲーム（倒木更新）
- ・ シカの食害問題についての紹介
- ・ 防鹿柵の紹介、効果の説明
- ・ 自然再生事業の取り組みの紹介
- ・ 野鳥観察およびその生態の紹介
- ・ 生態系のしくみ紹介
- ・ 五感を使ったゲーム
- ・ 大台ヶ原の歴史の解説



写真1：AR自然観察会の様子

③ 実施結果

苔の森でミニエコツアーは4日8回（内2日4回台風及び悪天候のため中止）、夏の森でエコハイキングは4日4回（内2日2回台風及び悪天候のため中止）、計2日12回の観察会を実施し、参加者は、苔の森でミニエコツアーが11名、夏の森でエコハイキングが30名の計41名であった。

前年度の課題であった当日キャンセルについては、開催前日の予約者への連絡等により改善された。

今年度は、紀伊半島に多大な影響を及ぼした台風の通過により、観察会を中止せざるを得ないことがあった。また、大台ヶ原へのアクセス道の崩落により、事前キャンセルが相次いだ。キャンセル時には、アクセス道において不正確な情報による混乱が多数見受けられたことから、今後は正確な情報を提供する必要があると考えられる。

表1：自然観察会 ～苔の森でミニエコツアー～ 実施結果

開催日程	予約者数		予約合計	参加者数		参加合計	アンケート回収
	午前	午後		午前	午後		
6/25(土)	3	0	3	6	1	7	3
9/3(土)	1	0	1	中止	中止	-	-
9/17(土)	1	0	1	中止	中止	-	-
10/1(土)	2	1	3	2	2	4	4
合計	7	1	8	8	3	11	7

表2：自然観察会 ～夏の森でエコハイキング～ 実施結果

開催日程	予約者数	予約合計	参加者数	アンケート回収
7/23(土)	11	11	中止	-
7/24(日)	15	15	中止	-
8/6(土)	11	11	15	15
8/13(土)	15	15	15	11
合計	52	52	30	26

(2) P V自然観察ハイキング

近畿地方環境事務所 吉野自然保護官事務所では、五感を使って季節ごとの大台ヶ原の自然を感じ、自然とふれあうきっかけ作りの場とすることや、大台ヶ原の自然を分かりやすく紹介することにより、大台ヶ原の自然環境に親しみ、理解を深め、利用マナーの啓発を目的として、下記の通り、パークボランティア（P V）による自然観察ハイキングを実施した。

① 実施概要

開催日時：6月12日(日)、7月17日(日)、8月14日(日)、10月16日(日)

※ 各日、10:30～15:00

場 所：東大台周回線歩道

対 象：一般（小学生以下の参加は保護者同伴とした）

定 員：各回20名

参加費：100円（傷害保険代）

広 報：ホームページ、報道機関への情報提供、ビジターセンター、当日募集

② 内容

ガイドのスキルや経験を持つパークボランティアが先導又は解説を行い、サポーターが安全管理を担当し、1グループにつき2人体制で実施した。

- ・ 国立公園の紹介およびマナー・ルールの案内
- ・ 季節の見頃の植物の紹介、有毒植物の周知
- ・ シカの食害問題についての紹介
- ・ 防鹿柵の紹介、効果の説明
- ・ 自然再生事業の取り組みの紹介
- ・ 生態系のしくみ紹介
- ・ 大台ヶ原の歴史の解説



写真2：P V自然観察ハイキングの様子

③ 実施結果

今年度は、シロヤシオ開花時期の6月、夏休み直前の7月、盆シーズンの8月と紅葉が見頃の10月の計4回実施。参加者は計43名であった。

A R自然観察会と同様に前年度の課題であった当日キャンセルについては、開催前日の予約者への連絡等により改善されたが、悪天候の予報が出た時の直前のキャンセルが相次いだ。

また、紀伊半島に多大な影響を及ぼした台風の通過により大台ヶ原を訪れる利用者数が減少し、当日の集客率も減少した。特に10月の観察会においては、大台ヶ原へのアクセス道の崩落により、事前キャンセルが相次いだ。キャンセル時には、アクセス道について不正確な情報による混乱が多数見受けられたことから、今後は正確な情報を提供する必要があると考えられる。

表3：P V自然観察ハイキング 実施結果

開催日程	予約者数	参加者数	アンケート回収
6/12(日)	10	4	3
7/17(日)	20	20	20
8/14(日)	10	12	10
10/16(日)	20	7	6
合計	60	43	39

1-2. 周辺地域の関係機関等と連携した自然体験学習プログラムの実施

(1) 周辺地域の小中学校と連携した育苗イベント

周辺地域の関係機関等と連携した普及啓発活動として、上北山村立上北山小学校、上北山中学校の児童・生徒を対象に、大台ヶ原で採取した種子を播種するイベントを実施した。

① 実施概要

日 時：平成 23 年 12 月 19 日(月) 13:30～16:25

場 所：上北山中学校

参加者：31 名（小学校児童 18 名、中学校生徒 13 名）

② 内容

大台ヶ原で採取したトウヒ、ナナカマドの種子を児童・生徒自身がプランターに土を入れ、種をまき、灌水するまでの作業を行った。今後、生徒による苗木への灌水等を行い、一定の大きさまで育てた後、大台ヶ原の植栽試験に供する予定。



写真 3：育苗イベントの様子（上北山小学校児童）



写真 4：育苗イベントの様子（上北山中学校生徒）

2. 情報提供・情報発信の充実

2-1. 各種情報の活用

(1) 大台ヶ原と京都御苑、美しい自然展

① 実施概要

期間：平成 23 年 10 月 7 日(金)～11 月 6 日(日) 各 9:00～16:30

※ 期間中に講演会などの特別企画も開催

場所：京都御苑閑院宮邸跡レクチャーホール

主催：近畿地方環境事務所 京都御苑管理事務所

協力：(財)国民公園協会京都御苑

② 内容

山岳地の国立公園「大台ヶ原」と都市部の国民公園「京都御苑」の自然環境と、自然を保護するための取組についての展示を通じて、自然環境への理解を深めるとともに大台ヶ原の隠れた魅力を紹介することを目的として、近畿地方環境事務所と京都御苑管理事務所が共同で昨年に引き続き展示イベントを開催した。

期間中は大台ヶ原コーナーでは、大台ヶ原に関する解説パネルをはじめ、大台ヶ原に生息する大型哺乳類の頭骨やツキノワグマの剥製、小型哺乳類の剥製標本などを、大台ヶ原ビジターセンター、(財)自然環境研究センターの協力により展示した。また大台ヶ原の美しい風景、生き物の写真を展示し、あわせて自然を守る取組についてパネル等で紹介した。(写真 5 参照)

展示期間中には、特別企画として講演会「コケでつながる大台ヶ原と京都御苑」を開催し、吉野自然保護官補佐が吉野熊野国立公園の概要や大台ヶ原の魅力について、森と水の源流館木村氏がコケ植物からみた大台ヶ原と京都御苑の共通性について分かりやすく説明した。(写真 6 参照)

また、佐藤桂子氏による野草・雑草押し花体験の講習会を開催し、京都御苑周辺の身近な自然とふれあう機会を通して、幅広い年代の方々に自然の美しさを PR した。(写真 7 参照)

展示期間は観光シーズンとも重なり、総来訪者数は約 1 ヶ月半で 5,000 人を超え、講演会など特別企画も盛況であった。



写真 5：大台ヶ原に関する展示状況



写真 6：講演会「コケでつながる大台ヶ原と京都御苑」の様子



写真 7：野草・雑草押し花体験